

令和7年度（通期）
指定管理施設管理運営状況報告書

施設担当課：教育委員会生涯学習部

0

図書館

1. 基本情報

150303

施設名	伊丹市立図書館神津分館		
施設の設置目的	図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、市民の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資する。		
伊丹市総合計画（第6次）における関連施策	政策大綱：育ち・学び・共生社会 施策：生涯学習・スポーツ 実施施策：図書館サービスの充実		
指定管理者の名称	特定非営利活動法人 わくわくステーション神津 (団体の住所又は所在地) 伊丹市森本1丁目8番地22		
選定方法（公募・非公募）及び指定期間	非公募	令和6年4月1日～令和11年3月31日	
管理運営上の目標 (管理運営の指定管理者の具体的目標)	指標名	来館者数・貸出冊数 (単位：人・冊)	
	指標の意味	年間の来館者数・延べ貸出冊数	
	今年度の目標値	46,000人・38,000冊	今年度の実績値 49,183人・34,735冊

2. 利用状況

利用状況等の推移		R2	R3	R4	R5	R6	R7 (通期)
	来館者数(人)		44,502	48,822	47,193	47,237	47,537
講座開催回数(回)		27	31	55	74	73	71
講座参加者数(人)		499	624	1,143	1,729	1,664	1,884
貸出冊数		34,861	38,080	36,479	37,376	37,343	34,735

3. 経費情報

区分		令和5年度(2023)	令和6年度(2024)	令和7年度(2025)	3カ年平均	
収入	使用料収入	0	0	0	0	
	事業収入	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	指定管理委託料	9,890	11,866	11,879	11,212	
	①合計	9,890	11,866	11,879	11,212	
支出	維持管理	光熱水費	237	291	289	272
		清掃等委託料	0	0	0	0
		土地建物賃料	0	0	0	0
		修繕料	0	121	0	40
	運営	人件費	8,493	9,574	10,678	9,582
		事業等経費	260	528	152	313
		その他	0	0	0	0
		指定管理納付金	0	0	0	0
②合計	8,990	10,514	11,119	10,208		
純収支(①-②)		900	1,352	760	1,004	

施設の管理運営に係る実質経費(市の負担)※ <単位:千円>		R2	R3	R4	R5	R6	R7
	市の収入		0	0	0	0	0
(内、使用料収入)		0	0	0	0	0	0
市の支出		9,831	9,885	9,874	9,890	11,866	11,879
(内、指定管理委託料)		9,831	9,885	9,874	9,890	11,866	11,879
実質経費(歳出-歳入)		9,831	9,885	9,874	9,890	11,866	11,879

※施設建設・大規模改修等に係る市債償還などの経費は、支出に含んでいません。

4. 業務評価

評価項目	(具体的内容)	評価結果				
		指定管理者自己評価		施設担当課評価		
		評価	特記事項	評価	担当課所見	
管理体制等に関する事項	維持管理業務の実施状況	館内の清掃を定期的実施し、常に清潔に保たれているか。	B	館内の清掃は職員が毎日実施しており、常に清潔を保つよう努めている。修繕が必要な事態が発生した場合は市と協議の上対応している。	B	職員自ら館内の清掃を実施しており、利用者が快適に利用できる施設環境の維持に努めている。また、館内設備についても必要に応じた確認及び対応が行われており、限られた施設規模の中で適切な維持管理が実施されている。
		保守点検等は、協定書・仕様書に基づき適切に実施しているか。	B			
		備品等は、台帳を整備し適切に管理しているか。	B			
		修繕業務は、市と適宜協議しながら適切に実施しているか。	A			
		環境に配慮した施設運営に取り組んでいるか。	B			
	職員配置などの実施体制	館長等、必要な職員の配置をおこなっているか。	B	防火管理者等有資格の職員は適正に配置しており、研修にも可能な限り参加し研鑽に努めている。	B	仕様書に基づき職員は適切に配置されている。また、職員間での情報共有や業務分担についても適切に行われており、限られた人員体制の中で効率的な運営に努めている。
		職員研修は、計画どおり実施しているか。	B			
		防火管理者等、管理にあたって必要な資格を持った職員を適正に配置しているか。	B			
	防犯・防災対策への取組状況	緊急時の連絡体制は整っているか。	B	神津交流センターの防災マニュアルに沿って、消防訓練・避難訓練を年2回実施している。	B	防災マニュアルに基づき定期的に各種訓練を実施しており、防犯・防災意識の向上が図られている。
		避難訓練を実施しているか。	B			
運営等に関する項目	サービス向上への取組状況等	サービス向上や利用者増へ向けた取り組みを行っているか。	B	アンケート調査や日々の業務で得られた利用者からの意見や要望等には適宜対応しており、今後の事業にも活かすよう取り組んでいる。	B	利用者ニーズを踏まえた資料提供や予約・リクエスト対応を適切に実施し、地域住民に身近な図書館として利用者サービスの維持向上に努めている。
		利用者の意見を施設運営に反映する仕組みを確立しているか。	B			
		苦情・トラブルに対し、適切・迅速に対応しているか。	B			
		特定利用者を優遇したり、理由もなく利用を制限している事例はないか。	A			
	事業等の実施状況	指定管理者として実施すべき事業は、計画どおり実施しているか。	B	計画した事業は、利用者に満足していただき、今後の利用につながるように留意して実施している。	B	読み聞かせ事業や季節展示等の読書推進事業を継続的に実施し、来館者・行事参加者の増加に努めている。
		施設の設置目的を達成するための効果的な事業展開がなされているか。	B			
	個人情報保護・情報公開への取組	各種申請書類等は、適切に保管しているか。	B	個人情報は適切に取り扱っている。情報提供は広報誌やホームページ等で積極的に行っている。	B	利用者情報や貸出情報等の個人情報については、適正な取扱いがなされており、個人情報保護に配慮した運営に努めている。また、館内掲示や広報物等を活用した情報発信についても適切に実施されており、事業案内や利用案内等を通じて利用促進に取り組んでいる。
		利用者情報などの電子データの取扱は、適切に行っているか。	B			
		ホームページの作成や広報紙等を活用した情報提供を積極的に行っているか。	B			
	収支の状況	収支計画に基づき、適正に運営しているか。	B	適切な収支計画・経理処理に基づいた適正な運営を行っている。	B	指定管理委託料の範囲内において、計画的な予算執行が行われており、効率的な施設運営に努めている。
経理処理は、適切に行っているか。		A				

「評価」欄の記号の意味

「A」＝協定書・仕様書等の水準を上回っている。

「C」＝協定書・仕様書等の水準を満たしておらず改善を要する。

「B」＝協定書・仕様書等の水準を満たしている。

「-」＝当該項目での評価対象外。

施設所管課総評	施設管理運営が概ね適切に実施されており、地域コミュニティに身近な図書館として安定したサービス提供が行われている。
総合評価	収支面においては、指定管理委託料の範囲内で適正な予算執行及び経理処理がなされており、効率的な施設運営に努めていることが認められる。
B	今後についても、地域特性や利用者ニーズを踏まえ、更なるサービス向上及び利用促進に向けた取組を期待する。

「総合評価」欄の記号の意味

「AA」＝非常に良好である又は非常に成果があった。

「B」＝取組状況の水準が普通である。

「A」＝良好である又は成果があった。

「C」＝改善すべき点が見受けられ、改善を要する。

☆利用者満足度調査(アンケート)結果と対応【実施期間】

3月10日

～

3月24日

実施の有無	主な回答	主な対応
有	職員の接遇に対しては満足していただけている。行事については児童向けものが多く、大人向けの開催の要望があった。	今後も利用者に満足いただける接遇を心がける。大人向けの行事は少しずつ増やしてはいるが、積極的に広報し、周知につなげたい。
回答者数		
50		

5. 改善指摘事項等

市からの指摘事項	指摘事項に対してとられた措置
—	—